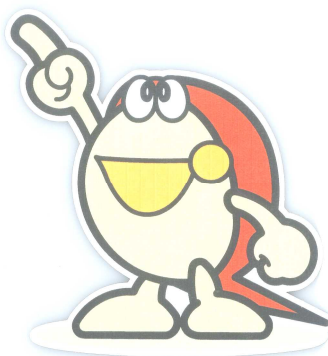


令和6年度

# 教育行政実施計画

～重点施策～



笠岡市教育委員会

# 目 次

|           |   |
|-----------|---|
| 基本理念・基本方針 | 1 |
| 施策体系      | 2 |

## 重点施策

### 重点施策・主要事業

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 重点 1 自立した子どもの育成                | 3 |
| 重点 2 共生の心の育成                   | 5 |
| 重点 3 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施        | 6 |
| 重点 4 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供 | 7 |
| 重点 5 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援 | 8 |
| 重点 6 文化財の保護・活用                 | 9 |
| 重点 7 競技スポーツの推進                 | 9 |

## 基本施策

### 基本施策・主要事業

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 1 自立した子どもの育成                | 10 |
| 2 共生の心の育成                   | 12 |
| 3 郷土愛の育成                    | 14 |
| 4 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施        | 15 |
| 5 学校施設等の整備                  | 15 |
| 6 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供 | 16 |
| 7 生涯学習によるまちづくり              | 18 |
| 8 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援 | 18 |
| 9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援     | 19 |
| 10 文化財の保護・活用                | 20 |
| 11 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実         | 21 |
| 12 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成      | 22 |
| 13 カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営     | 23 |
| 14 生涯スポーツの推進                | 25 |
| 15 競技スポーツの推進                | 26 |
| 16 スポーツ施設の整備・充実と活用          | 27 |

# 令和6年度教育行政実施計画

## 基本理念

～ 学ぶ楽しさ 輝く個性 生き抜く力 ～

## 基本方針

### 「学び」「育ち」をつなぎ自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進【学校教育】

新しい時代に必要となる資質・能力を備え、笠岡を愛し、共に生きていこうとする子どもたちの育成を目指します。また、ソフト・ハードの両面から子どもたちが安心して学習できる環境づくりを行います。

### 市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進【生涯学習】

市民が多種多様な学習機会を得て個人の成長や自己実現を図ることのできる環境を整備します。

また、その学習成果を発信できる機会を提供するとともに、家庭・地域・学校・関係団体等における人と人のつながりを深めることにより、活力ある地域社会の生成を目指します。

### 幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成【文化・芸術】

市民が文化に親しみ、文化・芸術活動に参加できる環境づくりに取り組むとともに、担い手の育成を行います。

また、歴史や自然を大切に守り、次の世代へと継承するよう努めます。

### だれでも気軽に楽しめる生涯スポーツの振興【スポーツ】

スポーツを通じて、生きがいや健康を育む高齢者や障がい者など、誰もが身近な場所で、運動やスポーツに親しみ、楽しみながら生涯を通じて取り組むことができる環境をつくることを実現するため、様々なスポーツ施策を推進します。



| 取 り 組 む べ き 施 策        |                         |                                     |      | 重点施策： <input type="checkbox"/> |
|------------------------|-------------------------|-------------------------------------|------|--------------------------------|
| 基本<br>理念               | 施策項目<br>(総合計画)          | 基本方針                                | 基本施策 |                                |
| 学ぶ楽しさ<br>輝く個性<br>生き抜く力 | 学校教育の充実                 | 「学び」「育ち」をつなぎ自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進 | 1    | 自立した子どもの育成                     |
|                        |                         |                                     | 2    | 共生の心の育成                        |
|                        |                         |                                     | 3    | 郷土愛の育成                         |
|                        |                         |                                     | 4    | 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施             |
|                        |                         |                                     | 5    | 学校施設等の整備                       |
|                        | 生涯学習の推進                 | 市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進      | 6    | 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供      |
|                        |                         |                                     | 7    | 生涯学習によるまちづくり                   |
|                        |                         |                                     | 8    | 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援      |
|                        |                         |                                     | 9    | 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援          |
|                        | 歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用 | 幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成           | 10   | 文化財の保護・活用                      |
|                        |                         |                                     | 11   | 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実               |
|                        |                         |                                     | 12   | 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成            |
|                        |                         |                                     | 13   | カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営           |
|                        | スポーツの振興                 | だれでも気軽に親しめる生涯スポーツの振興                | 14   | 生涯スポーツの推進                      |
|                        |                         |                                     | 15   | 競技スポーツの推進                      |
|                        |                         |                                     | 16   | スポーツ施設の整備・充実と活用                |

## 令和6年度教育行政主要事業

笠岡市教育振興基本計画を推進するために、令和6年度に笠岡市教育委員会が実施する主要事業について示します。笠岡市教育振興基本計画に掲げる基本施策のうち、本年度、重点的に推進する施策を重点施策と位置付けています。

重点施策及び基本施策の主要事業については、翌年度、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づく点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともにホームページ等により公表します。

### 重点施策

#### 重点1 自立した子どもの育成

##### 基本施策1ー(2) 確かな学力を身につけるための教育内容・方法の充実

子どもたちが落ち着いて学習に取り組み、友達と切磋琢磨する中で、基礎・基本の定着を図ります。さらに個に応じたきめ細かな指導やICT機器の活用等の指導方法の工夫、改善により、学ぶ楽しさを実感させ、授業や家庭学習等に主体的に取り組む意欲や態度を育成します。

#### 少人数指導研究事業、非常勤講師等単市加配配置計画【継続】

県の加配を活用して数学・英語の少人数指導を実施したり、単市で非常勤講師を配置して単学級での算数の授業を実施したりする。学習内容の積み上げが特に重要な教科の指導を充実させることで、児童生徒の学力向上を図る。

令和6年度目標：中学校少人数指導教員6名配置（数・英） 小学校非常勤支援員3名配置（算数）  
（事業費：3,219千円、担当課：学校教育課、教育総務課）

#### 学習の機会の充実事業【継続】

児童生徒の学習に対する意欲・関心を高め、学習習慣の定着を図るために、放課後、夏季休業中に学習の場を提供することで、学習内容の確実な定着を図り、児童生徒の学力向上に資する。

- ・主体的な学びの基盤づくり事業：希望小・中学校で実施（児童生徒の補充的な学習を行う場を放課後等に提供）
- ・かさおか夏チャレンジ学習支援事業：夏季休業中に5～10日間、希望小・中学校を会場に実施（児童生徒の補充的な学習の場を提供。）
- ・学期末学習チャレンジ事業：希望中学校で放課後等を実施。学習内容の確実な定着を目指す補充学習の場を提供。

令和6年度目標：全ての小中学校で補充的な学習の場をもつ  
（事業費：3,221千円、担当課：学校教育課）

「笠岡市中学生学力向上に向けた検定チャレンジ」【継続】

検定に向け自主的・積極的に取り組むことで、学習意欲及び基礎学力の向上を図る。

- ・笠岡市内に在住の中学生で、教育委員会が指定する検定を受検するための検定料を、各検定につき年度内1回に限り補助する。

令和6年度目標：補助金申請者数20%以上（市内中学生総数に対する補助金申請者数の割合）

（事業費：773千円，担当課：学校教育課）

ICT支援員配置事業【継続】

ICTを効果的に活用した授業が行われるように、ICT支援員を約10名配置する。

- ・授業中の児童生徒に端末の操作を支援する。
- ・教職員に教材や実践事例を紹介する。ICT活用のための校内研修などを行う。

令和6年度目標：ICT支援員全校配置

（事業費：40,100千円，担当課：学校教育課）

外国語指導助手配置事業【継続】

児童生徒の外国語に対する関心を高め、国際理解等に係る認識を醸成することを目的に、生きた英語に触れる機会を確保することで、コミュニケーション能力の向上を図る。

- ・外国語指導助手を9名、小・中学校へ配置する。
- ・小中の連携を考え、なるべく中学校ブロックごとに外国語指導助手がかかわる体制を目指して配置する。
- ・幼児が英語に触れる機会の設定（就学前・小連携の中で英語活動の実施）。

令和6年度目標：ALT全校・園配置

（事業費：47,100千円，担当課：学校教育課）

AI教材整備事業【継続】

GIGAスクール構想で整備した学習者用端末を効果的に活用できるAI教材を全児童・生徒に導入し、その蓄積されたデータ等を適切に活用することで、個に応じた学習支援につなげる。

令和6年度目標：児童・生徒のAI教材平均活用率50%以上

（事業費：5,292千円，担当課：学校教育課）

重点1 令和6年度目標

○将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査）：小6 85%、中3 80%

○全国平均正答率の差（全国学力・学習状況調査）：全国平均値以上

## 重点2 共生の心の育成

子どもたちが基本的な生活習慣や規範意識を身に付け、豊かな人間性や社会性を育む「心の教育」の充実を図ります。特に、人、社会、自然などとかかわる体験活動の充実や家庭や地域連携を通して、道徳教育の充実に向けた取組を推進します。また、いじめ、不登校、問題行動の未然防止、早期発見、早期解決に取り組み、子どもたちの好ましい人間関係づくりを推進します。

### ひろがる未来応援事業【継続】

交流活動や地域探求活動、体験活動等を通して、人々の思いや願い、多様な考えに触れ、互いの良さを認め尊重し合いながら、自らの生き方を考えたり他者と協働して身近な課題を解決しようとしたりする子どもを育てる。

令和6年度目標：全校実施

（事業費：3,960千円、担当課：学校教育課）

### いきいきチャレンジたいけん事業【継続】

中学生が地域の事業所において、職場の方々とのふれ合いや活動をとおして、社会人としての責任や苦勞、仕事の大切さやルール等について学び、主体的に自らの生き方や進路を選択していこうとする意欲や態度を育成する。

令和6年度目標：「いきいきチャレンジ体験は充実していた」（生徒アンケート）95%

（事業費：182千円、担当課：学校教育課）

### 笠岡市教育活動支援事業【継続】

支援員を配置することにより、支援を必要とする児童、生徒に適切な学習環境を提供するとともに、教職員が一体となった支援を行うことで教育活動の充実を図る。

令和6年度目標：小中40名配置

（事業費：49,624千円、担当課：学校教育課）

・小学校32人、中学校8人の配置

### 笠岡市総合教育相談支援センター事業【継続】

学校に行きづらくなってしまった場合の居場所として、安心して過ごせる空間を確保する。また、不登校支援拠点としての機能を強化し、1人ひとりの状況に合った支援方法を見立て、保護者支援や家庭へのアウトリーチ支援、学校復帰支援など不登校支援施策を総合的に実施。

令和6年度目標：嘱託4名 カウンセラー4名 非常勤支援員1名配置

（事業費：17,780千円、担当課：学校教育課）

### スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置事業【継続】

市内全小・中学校にスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒や保護者からの相談に対応したり、家庭環境等の問題に対応したりする。

令和6年度目標：スクールカウンセラー学校訪問のべ1,000時間

スクールソーシャルワーカー学校訪問のべ1,600時間

・スクールカウンセラー 13名配置

・スクールソーシャルワーカー 3名配置

## 重点2 令和6年度目標

○「人が困っているときは進んで助けている」と回答した児童生徒の割合：小6 92%、中3 90%

（全国学力・学習状況調査）

○小・中学校における不登校の出現割合（問題行動・不登校等調査）：全国平均値との差10P以上

### 重点3 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施

小学校と中学校が共に義務教育の一環を形成する学校として、学習指導や生徒指導において互いに協力し、責任を共有して目的を達成するという観点から、双方の教職員が義務教育9年間の全体像を把握し、系統性・連続性に配慮した教育活動に取り組む。また、児童生徒の適正な規模を確保し、社会性の育成をはじめとする好ましい教育環境と学校運営体制を図る。

#### 笠岡市小中一貫教育推進事業【継続】

義務教育9年間の枠組みの中で一貫した指導や支援を行い、子どもの「学び」や「育ち」の連続性を保障した小中一貫教育を推進していく。また、こ、保、幼等就学前機関との連携も強化し、切れ目のない教育を行う。

（事業費：4,660千円、担当課：学校教育課、教育改革推進室）

#### 小中一貫教育及び学校規模適正化計画の実施【継続】

学校規模適正化計画の基本方針及び今後の児童生徒数の推移を踏まえて、一定規模の児童生徒数を確保する中で望ましい教育環境を提供できるよう適正配置計画を推進する。ただし、今後、児童生徒数が基準を満たない状況が見込まれる場合は計画の随時見直しをすることとする。

（担当課：学校教育課、教育改革推進室）

### 重点3 令和6年度目標

○小中互いの良さを取り入れる意識の高まり（教職員アンケート）：90%

○授業では課題の解決に向けて自分で考え自分で取り組んだ（全国学力・学習状況調査 中学校3年生）：85%

○学校に行くのは楽しいと思う（全国学力・学習状況調査 中学校3年生）：90%

○中学校で学習する内容が楽しみ（小学校6年生アンケート）：75%

○中学校の授業に意欲的に取り組んでいる（中学校1年生アンケート）：85%

## 重点4 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供

市民に多様な学習機会を提供するとともに、公民館や図書館等の社会教育施設の利用促進を図るため、各施設の環境整備・サービスの充実を図ります。

- ・図書館においては、来館者が利用しやすい環境の整備や、ニーズに合った図書や自習室の拡充等、サービスの充実を図ることで、来館者数の増加につなげます。
- ・公民館、サンライフ笠岡、老人福祉センター等での講座をはじめ、市民団体等が自主的に行う学習等を支援し、市民が学ぶ機会の充実を図ります。
- ・市民ニーズを把握し、ニーズに応じた講座を新設する等、学習内容を充実します。さらに、ホームページやSNS等を活用し、学習情報を広く提供します。

### 公民館等講座【継続】

講座を通じて、地域住民が気軽に集い、学び、多くの人と交流することによって、心豊かで潤いのある人生を送ることができる。

- ・新しい知識、技術を習得できるように、市民のニーズにあった講座を開催する。

令和6年度中央公民館講座：主催講座 4講座

自主講座 41講座

令和6年度20地区公民館講座： 308講座（令和5年度実績数）

令和6年度目標：講座数 360講座

中央公民館講座生数 600人

（事業費：1,542千円〔中央公民館講座〕、担当課：生涯学習課）

### 図書館事業【継続】

誰もが気軽に利用できる図書館を目指すことにより、来館者数の増加につなげ、市民の読書意欲を高める。

- ・来館者が利用しやすい環境整備を行う。
- ・来館者のニーズに合った資料の購入や情報の提供、行事の開催等によりサービスの充実を図る。
- ・来館が難しい市民へのサービスを拡充する。

（障がい者サービス、移動図書館車「かぶとがに号」・島しょ部巡回文庫業務の充実等）

- ・読書バリアフリーに配慮した読書環境を整備する。
- ・広域（福山市、高梁川流域連盟加盟自治体）に対する図書館サービスを行う。
- ・「第3次笠岡市子ども読書活動推進計画」を策定する。

令和6年度目標：図書館への来館者数 82,000人

図書館の総貸出冊数 250,000冊

（事業費：98,440千円、担当課：生涯学習課）

## 重点5 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援

家庭・地域・学校における人と人とのつながりの輪を広げる交流を盛んにするとともに、地域文化を高め、地域に誇りを持つことができるように地域全体で子どもの健やかな成長を見守りながら、地域ぐるみの教育支援を行います。

- ・関係機関等と連携を取りながら地域の人材育成に取り組む等、地域の教育力向上を図ります。
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との連携を深め、一体的な推進を目指します。

### 地域学校協働本部事業【継続】

学校の支援活動を通じて、保護者、地域住民、学校関係者等の連携を深め、地域ぐるみで子どもを育てる体制を構築する。

- ・地域住民等の参画による学校教育を支援する組織を立ち上げ、子どもたちの学習支援、学校の環境整備や行事の支援を行うとともに、活動を通じて地域のつながりを強化する。

実施校：6中学校（笠岡東、笠岡西、金浦、新吉、大島、小北）、

14小学校（笠岡、中央、金浦、大井、城見、陶山、新山、吉田、神内、神島外、大島、北川、北木、六島）

令和6年度目標：実施日数 のべ3,200日

学校支援活動への参加者数 32,000人

（事業費：2,292千円、担当課：生涯学習課）

### 放課後子ども教室推進事業【継続】

児童生徒が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な学習や体験、交流活動を行えるように地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。

- ・地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力を得て、放課後等を過ごす児童生徒に体験学習、学習支援、伝統文化体験等を提供する放課後子ども教室を実施する。

実施団体：4団体（予定）

令和6年度目標：実施団体数 8団体

実施日数 のべ300日

（事業費：1,117千円、担当課：生涯学習課）

### 土曜日教育支援事業【継続】

児童生徒が土曜日や休日等を安全・安心に過ごし、多様な学習や体験、交流活動を行えるように地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。

- ・地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力を得て、土曜日や休日等を過ごす児童生徒に体験学習、学習支援、伝統文化体験等を提供する土曜日教育支援事業を実施する。

実施団体：9団体（予定）

令和6年度目標：実施団体数 9団体

実施日数 のべ110日

（事業費：523千円、担当課：生涯学習課）

### 青少年宿泊体験事業（北木島宿泊研修所）【継続】

北木島特有の地域資源を活用した学習及び交流を提供することで、青少年の健全育成を推進するとともに地域の活性化に寄与する。

- ・北木島宿泊研修所を指定管理によって運営する。

令和6年度目標：施設利用者数 1,000人

市内学校利用件数 9件

（事業費：5,630千円、担当課：生涯学習課）

## 重点6 文化財の保護・活用

文化財を総合的に保護・活用するための「笠岡市歴史文化基本構想」に基づき、保護と活用の一体的な取組を進めていきます。

また、文化財と関わることで、地域への理解や愛着を深め、交流や連携を推進する契機となるような取組を実施します。

### 白石踊保存伝承事業【継続】

白石踊は、令和4年11月に「風流踊」としてユネスコ無形文化遺産に登録された。令和6年度は登録2年目として、初年度に続き踊りの保存継承に向けて、後継者育成及び普及啓発活動を推進する。

- ・白石踊会に後継者育成事業を委託し、出前講座、定期練習会、啓発活動、備品整備等を実施する。

令和6年度目標：白石踊練習会参加者数 のべ400人

白石踊伝承コンテンツ開発数 1件以上

（事業費：1,455千円、担当課：生涯学習課）

## 重点7 競技スポーツの推進

各種スポーツ大会を開催することにより、スポーツレベルの向上を行うとともに競技人口の増加を図ります。また、プロスポーツの大会等を誘致し開催することで、トップアスリートの競技を観て学べるよう、観戦機会の拡大に努めます。

### プロスポーツ団体連携協定事業【継続】

プロスポーツ団体と連携協定を締結することにより、プロスポーツ大会誘致だけでなく、市のイベントへの参画をととして、より市民に身近に感じていただくとともに、体を動かす機会を増やし、健康寿命の延伸を図る。

- ・笠岡総合体育館でVリーグの公式戦を開催
- ・市主催のイベント等に岡山シーガルズの選手等のゲスト出演など

令和6年度目標：公式戦開催（年1試合）、市主催イベント等へのゲスト出演（年5回）

（事業費3,000千円、担当課：スポーツ推進課）

## 基本施策１ 自立した子どもの育成

【重点施策は P 3・4に掲載】

## 基本施策１－（１）自ら学びに向かい、課題を解決する力を育成するための教育活動の充実

落ち着いた学習環境づくりを行うため、就学前教育から義務教育へのつながりを大切にしながら自己肯定感・自己有用感の醸成及び人間関係づくりに努めます。子どもたちが夢や目標をもち、自ら課題を見つけてその解決に主体的に取り組む力を養うことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現を図り、学習に主体的に取り組む意欲や学んだことを活かそうとする態度の育成を図ります。また、個に応じたきめ細やかな学習方法の工夫・改善により、学ぶ意欲の向上を図ります。

|          |                                                                                                                               |                                                                                               |     |     |       |        |        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | いきいき交流スクール事業                                                                                                                  | 予算額<br>(千円)                                                                                   | 180 | 担当課 | 学校教育課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                        | 意図（どのようにしたいのか）                                                                                |     |     |       |        |        |
|          | 児童                                                                                                                            | 小規模校が増加する中で、子どもたちが授業等を通して、多様な考えや多くの人間性に触れる場を意図的、計画的に設定し、一人ひとりの子どもたちの主体的に学ぼうとする心情や豊かな感性の育成を図る。 |     |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○複数の小規模校が教科の学習等とともにを行うなど授業を通した学校間・地域間の交流活動を推進する。<br>・いきいき交流スクール 参加校：神島外小学校、北木小学校、六島小学校<br>・小規模校間の交流授業の推進<br>令和6年度目標：交流授業の実施2回 |                                                                                               |     |     |       |        |        |

|          |                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                          |   |     |       |        |        |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 転入学特別制度                                                                                                                                                                                                                         | 予算額<br>(千円)                                                                                              | — | 担当課 | 学校教育課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                                                          | 意図（どのようにしたいのか）                                                                                           |   |     |       |        |        |
|          | 児童，生徒                                                                                                                                                                                                                           | 豊かな自然環境や少人数の中での教育活動を特色とした小・中学校を指定し，その教育方針に賛同する児童生徒並びに保護者に対して，特別に入学又は転入学を認めることにより，特色ある学校生活を送ることができるようにする。 |   |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○希望する児童生徒並びに保護者に対して，一定の条件を付して特別に入学又は転入学を認める。<br>・神島外小学校転入学特別制度：豊かな自然環境に恵まれた少人数での教育活動<br>・神島外中学校転入学特別制度：豊かな自然環境に恵まれた少人数での教育活動<br>・わくわくシーサイドスクール：豊かな自然環境に恵まれた少人数の島しょ部小学校（北木小学校，六島小学校）の教育活動<br>令和6年度目標：本事業の広報活動（小学校へのチラシ配布，HPへの掲載） |                                                                                                          |   |     |       |        |        |

基本施策1－（2）確かな学力を身につけるための教育内容・方法の充実

|          |                                                                                               |                                                                                                           |   |     |                  |        |        |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----|------------------|--------|--------|
| 事業名      | 教職員研修充実事業                                                                                     | 予算額<br>(千円)                                                                                               | — | 担当課 | (学校教育課)<br>教育研修所 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                        | 意図（どのようにしたいのか）                                                                                            |   |     |                  |        |        |
|          | 教職員                                                                                           | 児童生徒の多様性に対応した指導が求められる昨今、子どもの興味関心を高めたり、可能性を引き出したりするコーチングのスキルを磨くことを通して子どもたちの主体的な学びを引き出す。また「伴走者」としての教師を育成する。 |   |     |                  |        |        |
| 事業<br>内容 | ○就学前、小、中学校の教職員が参加し、実践的な研修を行う。<br>・6月～8月実施<br>講師：コーチングスクール・プロフェッショナルコーチ<br>令和6年度目標：コーチング研修2回実施 |                                                                                                           |   |     |                  |        |        |

|          |                                                                 |                                                                       |       |     |       |        |        |
|----------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 指導者用デジタル教科書整備事業                                                 | 予算額<br>(千円)                                                           | 7,820 | 担当課 | 学校教育課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                          | 意図（どのようにしたいのか）                                                        |       |     |       |        |        |
|          | 児童、生徒、教職員                                                       | 指導者用デジタル教科書を整備することにより、教員が日常的に工夫しながら活用し、分かりやすい授業を展開することで、児童生徒の学力向上を図る。 |       |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○指導者用デジタル教科書を整備し、活用できる環境を整える。<br>令和6年度目標：全ての小・中学校に整備し、日常的に活用する。 |                                                                       |       |     |       |        |        |

|          |                                                              |                                                                                                    |             |       |     |       |        |        |
|----------|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 小学校理科観察実験アシスタントの配置事業                                         |                                                                                                    | 予算額<br>(千円) | 3,582 | 担当課 | 学校教育課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                       | 意図（どのようにしたいのか）                                                                                     |             |       |     |       |        |        |
|          | 児童、生徒、教職員                                                    | 主として5、6年の理科の授業に対して外部人材を観察実験アシスタントとして配置することにより、授業における観察、実験活動の充実及び教員の資質向上を図るとともに、小学校における理科教育の充実に資する。 |             |       |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | 令和6年度目標：<br>◆配置校 笠岡小・中央小・金浦小・城見小・大井小・吉田小・北川小・大島小・神内小 支援員3人配置 |                                                                                                    |             |       |     |       |        |        |

## 基本施策2 共生の心の育成

【重点施策は P 5に掲載】

### 基本施策2－（1）豊かな人間性を育む教育の充実

|          |                                                                                                     |                                                                                         |     |     |       |        |        |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 人権教育自立促進事業                                                                                          | 予算額<br>(千円)                                                                             | 721 | 担当課 | 学校教育課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                              | 意図（どのようにしたいのか）                                                                          |     |     |       |        |        |
|          | 児童、生徒                                                                                               | 人権学習を通して正しい知識と理解をもち、様々な人権問題に真摯に向き合える人格の形成を図る。また、教科学習を通して、基礎学力を習得し、自らの力で進路を切り開いていく力を育てる。 |     |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○日々の学習の充実と行事への参加を目標に学習を行う。<br>・小学校学習会（5月～3月）…教科学習，人権学習<br>・中学校学習会（5月～3月）…教科学習，人権学習<br>・笠岡市人権文化祭への参加 |                                                                                         |     |     |       |        |        |

### 基本施策2－（2）健康教育の充実と食育の推進

子どもの心身の健康を保持、増進していくために、「早寝・早起き・あいさつ・朝ごはん」の生活習慣の定着を図り、健康を大切にする意欲や態度を育て、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく実践力の育成に努めます。

学校給食は生きた教材であり、安全・安心を最優先に徹底した衛生管理に努め、学校・家庭と連携し、栄養教諭による食育指導や食に関する情報提供・情報発信を行い、食品ロスや地産地消等のSDGsの課題に取り組むとともに望ましい食習慣の確立に努めます。

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                  |   |     |              |        |        |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|---|-----|--------------|--------|--------|
| 事業名      | 地産地消を推進する食育啓発事業                                                                                                                                                                                                                                                                    | 予算額<br>(千円)                                                      | — | 担当課 | 学校給食センタ<br>— | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                                                                                                             | 意図（どのようにしたいのか）                                                   |   |     |              |        |        |
|          | 児童、生徒、保護者                                                                                                                                                                                                                                                                          | 学校給食を生きた教材として捉え、「食」がつなぐ社会の仕組みや課題を理解し、学校・家庭・地域と連携しての地産地消の食育を推進する。 |   |     |              |        |        |
| 事業<br>内容 | ○地元生産者等と連携し、笠岡産や岡山県産といった身近な食材を積極的に献立に取り入れ、地産地消への関心を深めるとともに、学校給食だけでなく家庭においても地産地消に取り組むための情報提供を行う。<br>○「食」が繋ぐ社会の仕組みを理解し、身近な食品ロスといった「食」に関する環境問題や社会問題の解決に取り組める食育指導を行う。<br>・地産地消週間における地産地消食材の積極的な活用<br>令和6年度目標：地産地消食材の活用実施 金額ベース50%以上<br>・SDGs等、身近な課題として取り組む食育指導の実施<br>令和6年度目標：食育指導 全クラス |                                                                  |   |     |              |        |        |

|          |                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                    |             |   |     |              |        |        |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------------|---|-----|--------------|--------|--------|
| 事業名      | 健康教育の推進・啓発事業                                                                                                                                                                                                                                |                                                                    | 予算額<br>(千円) | — | 担当課 | 学校給食センタ<br>— | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                                                                      | 意図（どのようにしたいのか）                                                     |             |   |     |              |        |        |
|          | 児童、生徒、保護者                                                                                                                                                                                                                                   | 基本的な生活習慣を身につけるとともに、心身の成長と健康を大切に考え、自身の健康管理に取り組む姿勢を育て、望ましい食習慣の確立を図る。 |             |   |     |              |        |        |
| 事業<br>内容 | ○「早寝・早起き・あいさつ・朝ごはん」運動を推進し、学校・家庭と連携し、基本的な生活習慣、特に食習慣に関心をもち、自分で健康管理に取り組める食育を行う。                                                                                                                                                                |                                                                    |             |   |     |              |        |        |
|          | ○心身の成長に必要な栄養を理解し摂取できる献立内容に努める。                                                                                                                                                                                                              |                                                                    |             |   |     |              |        |        |
| 事業<br>内容 | ○学校給食は生きた教材であり、一日の食生活の一部であることを理解し、家庭においても栄養バランスのとれた食事が実践できるよう情報提供を行う。                                                                                                                                                                       |                                                                    |             |   |     |              |        |        |
|          | ・朝食摂取に関するアンケートと実態把握      令和6年度目標：毎日朝食を食べるアンケート結果 80%以上<br>・残食率の調査と適切な栄養摂取指導      令和6年度目標：栄養バランスが大切と思うアンケート結果 85%以上<br>・「献立による学校給食指導年間計画表」等による行事食、郷土食、児童生徒の希望献立の実施<br>令和6年度目標：全校<br>・給食試食会の実施<br>・給食だより、動画等による食の情報提供、情報発信      令和6年度目標：月1回以上 |                                                                    |             |   |     |              |        |        |

## 基本施策2－（3）学校体育、スポーツ活動の充実

子どもたちの生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て、体力の向上を図るとともに、自他の生命の尊重を基本理念として健康で安全な生活を送ることができる能力、態度、習慣を育てます。1週間あたりの総運動時間が短いこと、運動習慣の二極化の傾向があることなどから、幼児期からの多様な運動の経験、「わかる」「できる」楽しさがある授業の実践、体育的行事や運動部活動を通じた家庭、地域との連携等の充実を図り、運動に親しむ資質や能力を育てます。

|          |                                                                                                                                       |                                                                            |     |     |       |        |        |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 小学校陸上運動記録会<br>中学校総合体育大会、新人大会                                                                                                          | 予算額<br>(千円)                                                                | 661 | 担当課 | 学校教育課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                | 意図（どのようにしたいのか）                                                             |     |     |       |        |        |
|          | 児童、生徒                                                                                                                                 | 小学校学童水泳記録会、陸上運動記録会を開催することで、児童の意欲を高める。また、中学校総合体育大会や新人大会に参加することで、運動への意識を高める。 |     |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○小学校では記録会を開催することで、児童のスポーツへの取組の意識を高める。また、各種大会に参加することで運動部活動の活性化を図り、生徒の運動への取組の意識を高める。<br>・陸上運動記録会:10月17日ー笠岡陸上競技場<br>・中学校総合体育大会6月、新人大会10月 |                                                                            |     |     |       |        |        |

### 基本施策3 郷土愛の育成

学校（園）においては、学校評議員会や学校運営協議会を通して、地域住民や保護者の意見や助言を学校運営に生かすと共に、地域人材バンクや地域学校協働本部事業の活用を図るなど、地域ぐるみで子どもの教育を推進する体制づくりに取り組めます。そして、子どもにとって望ましい教育環境を整え、より一層教育効果を高めていくために、笠岡市立小、中学校の学校規模適正化計画をもとに、学校規模適正化を推進します。

|          |                                                                                                                                                            |                                                                                                    |   |     |       |        |        |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | コミュニティスクール事業                                                                                                                                               | 予算額<br>(千円)                                                                                        | — | 担当課 | 学校教育課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                     | 意図（どのようにしたいのか）                                                                                     |   |     |       |        |        |
|          | 小学校、中学校、保護者、地域住民                                                                                                                                           | 校長の学校運営に関する権限と責任の下、地域住民及び保護者等の学校運営への参画等を進めることにより、学校と家庭、地域住民等の相互の信頼関係を基に教育力を高め、子どもたちの豊かな学びと育ちを実現する。 |   |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ・設置校の校長は、基本的な方針を作成し、協議会の了承を得る。また、基本的な方針に基づき、学校運営を行い、1回以上の評価を行う。<br>令和6年度目標：<br>・スーパーバイザーとしてCSマイスターを配置（1カ所）し、学校運営協議会を活性化させる。<br>・教職員、学校運営協議会委員を対象とした研修会を実施。 |                                                                                                    |   |     |       |        |        |

|          |                                                                                                       |                                                                      |             |   |     |       |        |        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------|---|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | ウェブサイトによる情報発信事業                                                                                       |                                                                      | 予算額<br>(千円) | — | 担当課 | 学校教育課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                | 意図（どのようにしたいのか）                                                       |             |   |     |       |        |        |
|          | 小学校、中学校                                                                                               | インターネットを利用し、学校を紹介するとともに、お知らせや教育方針等の情報を積極的に発信することにより、地域に開かれた学校づくりを図る。 |             |   |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○全小、中学校に整備したウェブサイトを活用し、教育内容の公開、更新を行い、学校の方針や教育内容について広報し、学校教育への理解を図る。<br>令和6年度目標：全ての学校がウェブサイトを活用、公開、更新。 |                                                                      |             |   |     |       |        |        |

|          |                                                                               |                                                                                              |   |     |       |        |        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | いきいきオープンスクール事業                                                                | 予算額<br>(千円)                                                                                  | — | 担当課 | 学校教育課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                        | 意図（どのようにしたいのか）                                                                               |   |     |       |        |        |
|          | 児童、生徒、保護者、地域住民                                                                | 市内の小、中学校の教育活動の現状を一定期間、一斉に公開し、地域に開かれた信頼される学校を実現するため、学校が保護者や地域住民の意見や要望を的確に把握し、家庭や地域社会と連携協力を図る。 |   |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○令和6年11月上旬に、児童生徒のすべての教育活動を公開し、アンケート等により、地域の方の要望や意見を聞く。<br>令和6年度目標：全ての学校で事業を実施 |                                                                                              |   |     |       |        |        |

## 基本施策4 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施

【重点施策は P 6に掲載】

|          |                                                            |                                                                     |       |     |                   |        |        |
|----------|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------|-----|-------------------|--------|--------|
| 事業名      | 小中一貫教育コーディネーターの配置【継続】                                      | 予算額<br>(千円)                                                         | 7,399 | 担当課 | 学校教育課・教<br>育改革推進室 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                     | 意図（どのようにしたいのか）                                                      |       |     |                   |        |        |
|          | 児童、生徒                                                      | 小中一貫教育を推進するにあたり、課題の把握、情報の共有、合同研修会や<br>乗り入れ授業等の日程調整等を行い、小中の円滑な接続を図る。 |       |     |                   |        |        |
| 事業<br>内容 | ○小中一貫教育を進めるために、嘱託職員を配置<br>○幼少期から小・中学生期までを見通し、継続した学びの充実を図る。 |                                                                     |       |     |                   |        |        |

## 基本施策5 学校施設等の整備

学習及び生活の場として、良好な環境を確保するとともに、安全性を備えた施設環境を形成することができるよう、施設整備に努めます。また、「笠岡市小中一貫教育推進計画」に基づき、小中一貫教育を実施するための施設整備に取り組みます。

|          |                                                                                                                                                                  |                                        |             |        |     |       |        |        |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-------------|--------|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 小中学校防犯カメラ等設置事業                                                                                                                                                   |                                        | 予算額<br>(千円) | 62,180 | 担当課 | 教育総務課 | 区<br>分 | 拡<br>充 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                           | 意図（どのようにしたいのか）                         |             |        |     |       |        |        |
|          | 児童、生徒                                                                                                                                                            | 通学時の安全管理や来庁者確認等を行うことにより、児童・生徒の安全を確保する。 |             |        |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○防犯カメラについては、学校からの要望に応じて校門や玄関などに設置しているが、令和5年度にPTAや学校から、各学校への防犯カメラやモニター等の設置要望があったため、令和6年度中に整備を進める。<br>令和6年度目標：設置校数 小学校12校、中学校5校<br>設置台数 防犯カメラ39台、人感センサー17台、モニター14台 |                                        |             |        |     |       |        |        |

## 基本施策・主要事業

|          |                                                                                                                                                                                                                                           |                                      |     |     |       |        |        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 小中一貫教育校の施設整備事業                                                                                                                                                                                                                            | 予算額<br>(千円)                          | 510 | 担当課 | 教育総務課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                                                                    | 意図（どのようにしたいのか）                       |     |     |       |        |        |
|          | 児童、生徒、地域住民                                                                                                                                                                                                                                | 「笠岡市小中一貫教育推進計画」に基づき、施設一体型小中一貫校を整備する。 |     |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○金浦中学校ブロックにおいて、小中一貫校建設に向けての協議・検討を行い、基本設計・実施設計等に向けての準備を進める。<br>・基本計画での基本方針・整備コンセプト・必要諸室等を踏まえたうえで、整備検討委員会にて、より安全な場所への新校舎建設を十分に検討し、小中一貫教育を効果的に推進していくことができる施設を建設するために基本設計・実施設計等の準備を行う。<br>令和6年度目標：施設の配置図案、各階の平面図案の作成<br>基本設計・実施設計の仕様書・詳細要件の作成 |                                      |     |     |       |        |        |

## 基本施策6 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供

### 【重点施策は P 7に掲載】

|          |                                                                                                                         |                                                                                    |       |     |       |        |        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 公民館活動助成事業                                                                                                               | 予算額<br>(千円)                                                                        | 5,953 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                  | 意図（どのようにしたいのか）                                                                     |       |     |       |        |        |
|          | 市民                                                                                                                      | 市民の主体的な参加のもとに行う各公民館独自の活動事業を積極的に推進することにより、心豊かでたくましい人間尊重のまちづくりを実現し、地域の課題解決を図ることができる。 |       |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○地域ぐるみの社会参加活動の実施<br>○生涯学習を進める住民大会の実施<br>○ボランティア活動の実施<br>○学習サークル活動の実施                                                    |                                                                                    |       |     |       |        |        |
|          | ○地域のネットワークづくり活動の実施<br>○その他生涯学習まちづくり活動の実施<br>○子どもから高齢者まで幅広い年齢層の参加できる事業を実施<br><br>令和6年度目標：新規助成事業 10事業<br>助成事業参加者数 20,000人 |                                                                                    |       |     |       |        |        |

|          |                                                                                                                                              |                     |   |     |       |        |        |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | まちづくり出前講座                                                                                                                                    | 予算額<br>(千円)         | － | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                       | 意図（どのようにしたいのか）      |   |     |       |        |        |
|          | 市民                                                                                                                                           | 市民の自主的な生涯学習活動を支援する。 |   |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○市民が学びたい講座等を選択し、市職員やボランティア等が講師となり出向いて講話や実習を行う。令和6年度は80講座を実施する。また、出前講座受講者へのアンケート等により、ニーズをくみ取り、新メニューを開発する。<br>令和6年度目標：受講者数 7, 200人<br>開催数 240回 |                     |   |     |       |        |        |

基本施策・主要事業

|          |                                                                               |                                                                 |    |     |       |        |        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 市民大学教養講座事業                                                                    | 予算額<br>(千円)                                                     | 76 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                        | 意図（どのようにしたいのか）                                                  |    |     |       |        |        |
|          | 市民、在勤者、在学者、市外居住者                                                              | 文化や知識を広い視野から吸収するための学びの場を提供することにより、生きがいや豊かな人生を過ごすための一助とすることができる。 |    |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○前年度受講者のアンケート等から、市民のニーズをくみ取り、それに即した教養講座を開催する。<br>令和6年度目標：参加者数 100人<br>開催回数 2回 |                                                                 |    |     |       |        |        |

|          |                                                                                                                   |                                                                              |    |     |       |        |        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | たくましい笠岡っ子事業                                                                                                       | 予算額<br>(千円)                                                                  | 55 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                            | 意図（どのようにしたいのか）                                                               |    |     |       |        |        |
|          | 児童（小学3～6年生）                                                                                                       | 子ども達が自然体験や社会体験等を通じて自主的に活動していく中で、たくましさを身につける。また、地域の職業体験や世代間交流を通じて、地域への愛着を深める。 |    |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○小学3～6年生が自然体験や社会体験など、体験活動に取り組む。高校生ボランティア（VYS）との連携も図りながら、より地域への愛着が深まるようなメニューを企画する。<br>令和6年度目標：開催数 2回<br>参加者数 のべ35人 |                                                                              |    |     |       |        |        |

|          |                                                                                                                     |                                                                 |             |     |     |       |        |        |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------|-----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 生涯学習カレンダー等の作成・配布                                                                                                    |                                                                 | 予算額<br>(千円) | 130 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                              | 意図（どのようにしたいのか）                                                  |             |     |     |       |        |        |
|          | 市民                                                                                                                  | 情報誌を発行し、子どもの体験活動機会や家庭教育の支援に関する情報を提供し、児童の参加を促すとともに保護者の参加意欲を促進する。 |             |     |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○情報誌を発行し、子どもの体験活動機会や家庭教育の支援に関する情報を提供し、児童の参加を促すとともに保護者の参加意欲を促進する。<br>令和6年度目標：生涯学習カレンダー 年2回発行<br>ぽっけえかさおかわんぱく宝箱 年4回発行 |                                                                 |             |     |     |       |        |        |

## 基本施策7 生涯学習によるまちづくり

地域課題の解決や地域の特徴を活かした地域づくりの場としての公民館やまちづくり協議会の取組の状況や活動の成果を広く知らせる等、市民や団体が活動成果を発信する機会をつくり、市民の主体的な学習や活動意欲を引き出します。

|          |                                                                                                                  |                                                           |     |     |       |        |        |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 生涯学習フェスティバル                                                                                                      | 予算額<br>(千円)                                               | 900 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                           | 意図（どのようにしたいのか）                                            |     |     |       |        |        |
|          | 市民                                                                                                               | 生涯学習に取り組む団体の活動発表の場を提供することにより、生涯学習への意欲を高めるとともに学習活動への参加を促す。 |     |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○出展団体による舞台発表、展示発表、体験、販売など学習の成果を発表する。<br>○生涯学習功労者を選出し表彰する。<br>令和6年度目標：参加団体 65団体<br>参加者数 1, 400人（第7次総合計画後期基本計画目標値） |                                                           |     |     |       |        |        |

## 基本施策8 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援

【重点施策は P8に掲載】

|          |                                                                                                                                                                                    |                                                       |     |     |       |        |        |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 青少年健全育成事業                                                                                                                                                                          | 予算額<br>(千円)                                           | 864 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                             | 意図（どのようにしたいのか）                                        |     |     |       |        |        |
|          | 各地区青少年健全育成協議会                                                                                                                                                                      | 地区組織が補導活動、環境浄化活動、健全育成活動、啓発広報活動を実施することで、青少年の健全育成を推進する。 |     |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○地区組織が補導活動、環境浄化活動、健全育成活動、啓発広報活動を実施することで、青少年の健全育成を推進する。<br>令和6年度交付団体 11 団体（笠岡東、笠岡、笠岡西部、新吉、大島、神島外浦・高島、白石、北木、真鍋、六島、小北）<br>令和6年度目標：交付団体数 1 1 団体（現在の交付団体数の維持）<br>青少年育成運動推進指導員及び推進員数 9 人 |                                                       |     |     |       |        |        |

## 基本施策 9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援

市民団体等の育成・支援を図り生涯学習の輪を広げることにより、活力ある地域社会を形成します。  
・社会教育関係団体や市民団体と行政との協働による事業を進めることで、市民の知恵や力をまちづくりに発揮できるようにします。

|          |                                                                                                          |                                                   |     |     |       |        |        |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 諸学級事業                                                                                                    | 予算額<br>(千円)                                       | 520 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                   | 意図（どのようにしたいのか）                                    |     |     |       |        |        |
|          | 市民                                                                                                       | 同世代あるいは世代の垣根を越えた仲間たちが、地域社会や家庭に根差した、継続的な生涯学習活動を行う。 |     |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○生涯学習活動を行う各諸学級に対して補助金を交付し、活動の支援を行う。<br>（幼児学級、女性学級、高齢者学級、成人学級、チャレンジ学級）<br>令和6年度目標：活動学級数 20学級<br>新規学級数 1学級 |                                                   |     |     |       |        |        |

|          |                                                                                                                                                                                                |                                                                                     |        |     |       |        |        |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 子どもフェスティバル                                                                                                                                                                                     | 予算額<br>(千円)                                                                         | 1, 100 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                         | 意図（どのようにしたいのか）                                                                      |        |     |       |        |        |
|          | 市民（幼児・児童とその保護者）                                                                                                                                                                                | 気軽に楽しめるレクリエーションなどを通して、親子のふれあいや参加者相互の親睦を図る。また、市民がボランティアスタッフとして参画することでボランティア精神の醸成を図る。 |        |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○各種団体やサークルなどによる遊びや体験ブース、ミニ蒸気機関車、ミニ消防車などの遊び体験、パトカーやはしご車などの見学を提供する子どもフェスティバルを開催する。<br>○高校生ボランティアスタッフを募集し、当日の各ブースの運営を支援する。<br>○ゴールデンウィーク（4月29日）に開催する。<br>令和6年度目標：参加団体数     17団体<br>参加者数   1, 700人 |                                                                                     |        |     |       |        |        |

## 基本施策 10 文化財の保護・活用

文化財を総合的に保護・活用するための「笠岡市歴史文化基本構想」に基づき、保護と活用の一体的な取組を進めていきます。

また、文化財と関わることで、地域への理解や愛着を深め、交流や連携を推進する契機となるような取組を実施します。

## 【重点施策は P 9に掲載】

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                       |             |       |     |       |        |        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 文化財保護・活用事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                       | 予算額<br>(千円) | 7,892 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 意図（どのようにしたいのか）                                                                                        |             |       |     |       |        |        |
|          | 市民、一般                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 歴史文化基本構想に基づいて文化財の調査を行い、重要なものは指定・保護して後世に伝えるときともに、公開活用を促進し、歴史文化を活かしたまちづくりを行うことによって、笠岡市の文化及び魅力と活力の向上を図る。 |             |       |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○歴史文化を守り、育て、伝える。<br>・文化財の調査・指定・登録を行い、その価値を明らかにする。（津雲貝塚追加指定）<br>・指定文化財保護のため補助金を支出する。（文化財保護事業補助金，無形民俗文化財保存事業補助金）<br>・記録保存のために埋蔵文化財発掘調査を実施する。（鍛冶屋遺跡）<br>・文化財施設（敬業館，関戸廃寺，遍照寺多宝塔，長福寺裏山古墳群ほか）の管理を行う。<br>・保存管理計画の策定（津雲貝塚）<br>○歴史文化を効果的に活かす。<br>・歴史文化の情報を発信する。（郷土館，井笠鉄道記念館，文化財説明板整備，文化財リーフレット，講演会ほか）<br>・歴史文化を子どもたちに伝える（笠岡へ愛着を持ち隊）<br>・日本遺産「知ってる!? 悠久の時間が流れる石の島」に関する人材育成，普及啓発，調査研究，公開活用を推進する。<br>○歴史文化を守り、育み、活かすための基盤をつくる。<br>・文化財ガイドを養成する。<br><br>令和6年度目標：文化財保護・調査件数 40件<br>文化財普及・活用件数 40件 |                                                                                                       |             |       |     |       |        |        |

## 基本施策 1 1 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実

美術館設立の趣旨を基本に、市民のニーズを踏まえた魅力的で多様な企画展の開催や環境づくりにより、市民が何度でも訪れたい場所へと変革していきます。

- ・ 幼児・児童・生徒の来館促進
- ・ 市民が見る、知る、体験する場と機会の創出
- ・ 電子媒体の活用促進

|          |                                                                                                                                                                                   |                                          |        |     |       |        |        |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|--------|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 展覧会事業                                                                                                                                                                             | 予算額<br>(千円)                              | 26,499 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                            | 意図（どのようにしたいのか）                           |        |     |       |        |        |
|          | 市民、来館者                                                                                                                                                                            | 市民が見る，知る，体験する場と機会を得られるようにする。<br>文化向上を図る。 |        |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○テーマ展「国画創作協会の画家たち」<br>○特別展「山形美術館 服部コレクション展」<br>○テーマ展「没後20年 金谷仁尾子」<br>○特別展「動物画の名手 日本画家 入江西一郎 一画家はおきて夢をみるー」<br>○テーマ展「生誕150年 上島鳳山と大阪の四条派」<br>令和6年度目標値：入館者数 16,000人<br>ワークショップ開催数 10回 |                                          |        |     |       |        |        |

|          |                                                                                                                                                                                             |                                       |     |     |       |   |    |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-----|-----|-------|---|----|
| 事業名      | 各種イベント開催事業                                                                                                                                                                                  | 予算額<br>(千円)                           | 512 | 担当課 | 生涯学習課 | 区 | 継続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                      | 意図（どのようにしたいのか）                        |     |     |       |   |    |
|          | 市民、来館者                                                                                                                                                                                      | 見る、知る、体験する場と機会を得られるようにする。<br>文化向上を図る。 |     |     |       |   |    |
| 事業<br>内容 | ○ギャラリートーク<br>○「山形美術館 服部コレクション展」 講座、特別ギャラリートーク、絵本読み聞かせ、託児サービス<br>○「入江西一郎展」 切り紙ワークショップ、ナイトミュージアム<br>○子ども向け企画 子ども絵画教室、体験講座、美術館探検<br>○図書館特集コーナー展示との協力<br>令和6年度目標値：イベント開催回数 12回<br>イベント参加者数 250人 |                                       |     |     |       |   |    |

## 基本施策 1 2 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成

市民参加による幅広い自主的な創作活動を促進し、若者の視点も踏まえて、優れた文化・芸術にふれあう機会を増やします。また、文化向上の拠点整備に努めます。

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                               |     |     |       |        |        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 文化事業の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 予算額<br>(千円)                                   | 990 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 意図（どのようにしたいのか）                                |     |     |       |        |        |
|          | 市民                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 芸術・文化活動の活性化により、知性と文化意識の高揚を図り、長期的な視点で文化的風土を育む。 |     |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○笠岡市さつき・新緑展、夏休み子ども体験教室、名月観賞の夕べ、笠岡市文化祭、笠岡市芸能祭、笠岡市菊花展、笠岡市児童生徒美術展、笠岡市美術展の事業を通して、市民に芸術・文化活動への表現者としての参加を働きかけ、優れた芸術・文化活動の鑑賞機会を提供する。<br>○公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団との共催事業として、全国大会出場者等に対して賞揚金を贈呈し、選手を激励する。また、世界大会・全国大会・中国大会・県大会成績優秀者に対し、文化特別賞を授与する。<br>令和6年度目標：文化事業参加者総数 7,600人<br>夏休み子ども体験教室開講教室数 10教室 |                                               |     |     |       |        |        |

|          |                                                                                                                                                                                                    |                                                            |     |     |       |    |    |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-----|-----|-------|----|----|
| 事業名      | 能・狂言体験学習                                                                                                                                                                                           | 予算額<br>(千円)                                                | 293 | 担当課 | 生涯学習課 | 区分 | 継続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                             | 意図（どのようにしたいのか）                                             |     |     |       |    |    |
|          | 児童，生徒                                                                                                                                                                                              | 小，中学生の伝統芸能への関心・理解を深め，豊かな情操を育むとともに，<br>将来の文化活動を担う人づくりを推進する。 |     |     |       |    |    |
| 事業<br>内容 | ○平成 22 年度開催の国民文化祭の継承事業として，日本の伝統芸能である能・狂言の体験学習を小，中学校において実施する。派遣した能楽師や狂言師の指導により，総合的な学習や歴史・国語の授業の一環として，児童生徒が能・狂言を体験したり，発表したりする。<br>令和 6 年度目標：体験コース（能・狂言）各 3 校（2 時間× 1 回）<br>継続発表コース（狂言）1 校（2 時間× 7 回） |                                                            |     |     |       |    |    |

|          |                                                                                                                                                                                                                      |                                                              |       |     |       |        |        |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-------|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 笠岡市木山捷平文学選奨                                                                                                                                                                                                          | 予算額<br>(千円)                                                  | 2,273 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                                               | 意図（どのようにしたいのか）                                               |       |     |       |        |        |
|          | 市民、一般                                                                                                                                                                                                                | 笠岡市出身の小説家木山捷平氏の業績を顕彰することで、文芸創作活動の<br>活発化と、文芸創作活動をする市民の増加を図る。 |       |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○短編小説、随筆、詩、短歌、俳句、川柳の6部門で作品を募集する。短編小説は全国公募を行い、その他は市内公募を<br>継続しつつ、令和4年度から新たに過去に市内に在住・在学又は勤務地のあった方を応募資格に加えた。公募の範囲に<br>ついては今後の事業継続・充実に向け、対象を検討する。優れた作品は表彰の上、作品集に掲載し発行する。<br>令和6年度目標：短編小説応募者数 260人<br>その他5部門の応募者総数 3,100人 |                                                              |       |     |       |        |        |

|          |                                                                                                                                                                       |                                                                 |     |     |       |        |        |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 郷土文学者顕彰事業                                                                                                                                                             | 予算額<br>(千円)                                                     | 509 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                | 意図（どのようにしたいのか）                                                  |     |     |       |        |        |
|          | 市民、一般                                                                                                                                                                 | 郷土の優れた文学者の業績を顕彰し、文学資料を保存・展示することにより郷土の文学振興に寄与し、ひいては笠岡の魅力を広く発信する。 |     |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○木山捷平及び森田思軒関連の文学資料を整理し保存・展示する。<br>○森田思軒顕彰講演会     日時：令和6年11月開催予定<br>○木山捷平生家の管理<br>○木山捷平生誕120年記念行事   記念講演会     日時：未定<br>令和6年度目標：森田思軒講演会参加者数   30人<br>木山捷平講演会参加者数   100人 |                                                                 |     |     |       |        |        |

### 基本施策13 カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営

|          |                                                                                                                              |                                                    |        |     |       |        |        |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|--------|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 幼生の飼育・放流事業                                                                                                                   | 予算額<br>(千円)                                        | 9, 287 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                       | 意図（どのようにしたいのか）                                     |        |     |       |        |        |
|          | カブトガニ                                                                                                                        | 笠岡に生息するカブトガニが人の手を借りることなく、自然に繁殖力を取り戻すまで幼生を飼育し放流を行う。 |        |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○市内外の幼・小・中学生、一般の方々による幼生放流　幼生放流数：0匹（令和5年度実績）<br>○飼育池で産卵した卵を人工ふ化する。<br>○飼育施設の改修工事を行う。<br>令和6年度目標：幼生放流回数　1回以上<br>産卵池水路浚渫及びろ過槽改修 |                                                    |        |     |       |        |        |

|          |                                                                                                                                                                                   |                                              |       |     |       |        |        |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|-------|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 繁殖地内での啓発運動・監視活動・各種調査                                                                                                                                                              | 予算額<br>(千円)                                  | 3,955 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                            | 意図（どのようにしたいのか）                               |       |     |       |        |        |
|          | カブトガニ                                                                                                                                                                             | カブトガニ繁殖地内において、保護啓発運動、保護監視活動、生息状況確認のための調査を行う。 |       |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○カブトガニ保護啓発運動 令和6年6月2日<br>○リフレッシュ瀬戸内 令和6年7月28日（予定）<br>○保護監視活動 4月～11月<br>○干潟での目視による調査 令和5年度実績<br>幼生調査 150匹確認 繁殖地内での自然産卵確認 0カ所 成体調査 30匹確認<br>令和6年度目標：保護啓発運動参加者数 280人<br>保護監視活動回数 50回 |                                              |       |     |       |        |        |

基本施策・主要事業

|          |                                                                                                                                          |                                                                                                                                            |       |     |       |        |        |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 特別展、特別陳列等の開催                                                                                                                             | 予算額<br>(千円)                                                                                                                                | 5,688 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                   | 意図（どのようにしたいのか）                                                                                                                             |       |     |       |        |        |
|          | 市民、来館者                                                                                                                                   | 天然記念物カブトガニ繁殖地の自然環境、生息環境を守り、来館する多くの方々に自然とカブトガニを学ぶ機会を提供する。<br>また、海の生き物に直接触れることで、生物への関心を高めるとともに海をより身近に感じていただき、干潟等の海洋環境保全の重要性を理解していただくことにつなげる。 |       |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○特別展示「真・蠟」展 令和6年7月20日～9月29日<br>○特別陳列「八百万のカブトガニ」展 令和7年2月1日～4月6日<br>○タッチングプールの設置 令和6年7月20日～8月31日<br>令和6年度目標：来館者数 65,000人<br>自然観察イベントの回数 5回 |                                                                                                                                            |       |     |       |        |        |

|          |                                                                                                                                                                      |                                                        |    |     |       |        |        |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|----|-----|-------|--------|--------|
| 事業名      | 博物館のPR                                                                                                                                                               | 予算額<br>(千円)                                            | 44 | 担当課 | 生涯学習課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                               | 意図（どのようにしたいのか）                                         |    |     |       |        |        |
|          | ネット等SNSでつながっている人々                                                                                                                                                    | 博物館ホームページアクセス数の増加とともにSNSなどと連動して情報発信を行うことで博物館の魅力の向上を図る。 |    |     |       |        |        |
| 事業<br>内容 | ○福山市及び倉敷市方面への情報発信（特別展、特別陳列）を行う。<br>○博物館ホームページの内容の充実を図るとともに、SNS等の多様な媒体を活用した情報発信を行う。<br>令和5年度実績：フェイスブック投稿回数17、X（旧ツイッター）投稿数175<br>令和6年度目標：フェイスブック投稿回数20、X（旧ツイッター）投稿数180 |                                                        |    |     |       |        |        |

## 基本施策 14 生涯スポーツの推進

体力づくりや生きがいと健康づくりを重視し、年齢、性別、障がいの有無等に関わらず、日頃運動不足になりがちな人たちも、誰もが気軽に楽しめるスポーツを広めます。また、SNSなどを積極的に利用して広く情報発信を行うとともに、提供する情報内容の充実を図ります。

|          |                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                  |       |     |         |        |        |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|---------|--------|--------|
| 事業名      | 地域スポーツ活動事業                                                                                                                                                                                                                             | 予算額<br>(千円)                                                                      | 1,549 | 担当課 | スポーツ推進課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                                                                 | 意図（どのようにしたいのか）                                                                   |       |     |         |        |        |
|          | 市民                                                                                                                                                                                                                                     | 障がいの有無に関わらず、誰でもスポーツが楽しめるまちづくりを目指して、住民に対するスポーツ実技の指導を推進し、スポーツ活動の盛んな地域コミュニティの醸成を図る。 |       |     |         |        |        |
| 事業<br>内容 | ○誰もがスポーツに親しむまちづくりを推進するため、スポーツ推進委員を地域に派遣する。<br>○スポーツ普及活動（実技指導）を実施する。<br>○定期的な軽運動やニュースポーツを楽しめる機会の提供（スポレク事業）<br>○障がい者スポーツの推進<br>○地域福祉課やスポーツ推進委員と共同して、障がいの有無にかかわらず参加できる大会の開催やニュースポーツに触れる機会を提供する<br>令和6年度目標：ニュースポーツ大会の開催 年3回 うち障がい者参加目標 20人 |                                                                                  |       |     |         |        |        |

|          |                                                                                                                                                                                                         |                                         |    |     |         |        |        |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|----|-----|---------|--------|--------|
| 事業名      | スポーツ情報提供事業                                                                                                                                                                                              | 予算額<br>(千円)                             | 15 | 担当課 | スポーツ推進課 | 区<br>分 | 継<br>続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                                  | 意図（どのようにしたいのか）                          |    |     |         |        |        |
|          | 市民                                                                                                                                                                                                      | イベント情報やスポーツ団体を紹介することで、スポーツに関わる人口の増加を図る。 |    |     |         |        |        |
| 事業<br>内容 | ○市内のスポーツイベントや大会等の行事内容を広報するスポーツカレンダーを発行する。<br>○各種スポーツ団体の活動内容を紹介するスポーツサークルを発行する。<br>○笠岡市LINE 申請システムや、市ホームページ、SNSを通じて施設情報、イベント情報などの情報発信を行う。<br>令和6年度目標：スポーツカレンダーの発行回数 年4回<br>スポーツ推進課 Instagram への掲載回数 年20回 |                                         |    |     |         |        |        |

## 基本施策 15 競技スポーツの推進

各種スポーツ大会を開催することにより、スポーツレベルの向上を行うとともに競技人口の増加を図ります。また、プロスポーツの大会等を誘致し開催することで、トップアスリートの競技を観て学べるよう、観戦機会の拡大に努めます。

### 【重点施策は P 9に掲載】

|          |                                                                                                                                                                                                               |                                                     |        |     |         |    |    |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--------|-----|---------|----|----|
| 事業名      | スポーツ賞揚事業                                                                                                                                                                                                      | 予算額<br>(千円)                                         | 1, 189 | 担当課 | スポーツ推進課 | 区分 | 継続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                                                        | 意図（どのようにしたいのか）                                      |        |     |         |    |    |
|          | 市民、出場者                                                                                                                                                                                                        | 激励会の開催や懸垂幕の掲揚、またスポーツ賞揚金の贈呈により、出場選手を激励し、競技レベルの向上を図る。 |        |     |         |    |    |
| 事業<br>内容 | ○全国大会出場者等を市庁舎に設置している掲示板に掲示し、選手を激励する。（笠岡市文化・スポーツ振興財団より賞揚金）<br>○世界大会・全国大会・県大会・中国大会成績優秀者を賞揚する。（笠岡市文化・スポーツ振興財団より特別賞）<br>○公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団との共催事業として、国際大会、全国大会及び中国大会出場者に対して賞揚金を贈呈し、選手を激励する。<br>令和6年度目標：賞揚件数120件 |                                                     |        |     |         |    |    |

|      |                                                                                                                                                                                  |                             |       |     |         |    |    |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------|-----|---------|----|----|
| 事業名  | 市民スポーツ振興事業                                                                                                                                                                       | 予算額<br>(千円)                 | 3,283 | 担当課 | スポーツ推進課 | 区分 | 継続 |
| 事業目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                           | 意図（どのようにしたいのか）              |       |     |         |    |    |
|      | 市民                                                                                                                                                                               | 競技スポーツの強化を中心に総合的なスポーツ推進を図る。 |       |     |         |    |    |
| 事業内容 | ○公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団や笠岡市スポーツ協会と連携して、スポーツイベントの活性化を図るため、市民スポーツ大会、カブトガニ駅伝大会、べいふぁーむマラソン大会を実施する。<br>・笠岡市スポーツ協会に事業委託<br>令和6年度目標：カブトガニ駅伝大会 260 人、べいふぁーむマラソン大会参加者数 1,700 人（うち障がい者 20 人） |                             |       |     |         |    |    |

|          |                                                                                                                                                                                |                                                                               |     |     |         |    |    |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|---------|----|----|
| 事業名      | スポーツ教室事業                                                                                                                                                                       | 予算額<br>(千円)                                                                   | 825 | 担当課 | スポーツ推進課 | 区分 | 継続 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                                                                                                                                                                         | 意図（どのようにしたいのか）                                                                |     |     |         |    |    |
|          | 児童・幼児                                                                                                                                                                          | 生涯にわたって健康や体力を保持していくことができるよう、子どもたちにスポーツの楽しさを伝える。<br>ゴールデンエイジに運動に親しむ子ども達たちをつくる。 |     |     |         |    |    |
| 事業<br>内容 | ○公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団や笠岡市スポーツ協会と連携して、各種スポーツ教室を開催し、体の使い方や動き方を教え、スポーツの楽しさを知ってもらう。<br>○市内の3歳児から5歳児を対象に、保育所（園）、幼稚園に幼児スポーツインストラクターを派遣し、幼児期から運動する機会を提供する。<br>令和6年度目標：スポーツ教室参加人数 200人 |                                                                               |     |     |         |    |    |

## 基本施策１６ スポーツ施設の整備・充実と活用

総合的かつ計画的な施設整備を進め、既存施設の充実・活用を図って利用しやすい環境を整えます。また、経年劣化部分を修復することにより、施設の長寿命化を図ります。

|          |                                     |                                   |             |       |     |         |    |    |
|----------|-------------------------------------|-----------------------------------|-------------|-------|-----|---------|----|----|
| 事業名      | 笠岡運動公園水泳プール修繕                       |                                   | 予算額<br>(千円) | 8,000 | 担当課 | スポーツ推進課 | 区分 | 新規 |
| 事業<br>目的 | 対象（誰を）                              | 意図（どのようにしたいのか）                    |             |       |     |         |    |    |
|          | 市民                                  | 施設の経年劣化部分を定期的に修復することで、施設の長寿命化を図る。 |             |       |     |         |    |    |
| 事業<br>内容 | ○笠岡運動公園水泳プールを安全に運営するため、劣化部分等の修繕を行う。 |                                   |             |       |     |         |    |    |